

新フェリーターミナル海の駅「おしどまり」供用開始しました!!

平成26年

5月号

広報 

No.231

いしし富士

平成26年度

町政執行方針

元気なふるさと
づくりのために



平成二十六年利尻富士町議会定例会
三月会議の開会にあたり、町政執行に
対する私の所信と基本的な方針を申し
上げます。

私は、昨年の町長選挙において議会の
皆様、町民の皆様方の絶大なるご支
援の下、無投票当選という最高の栄を
与えていただき、私の育った「ふるさと
利尻富士町」の発展のために、重責
を感じながらも、町民の期待に応える
べく、様々なまちの課題に真正面から
全力で取り組んで邁進していく所存で
ありますので、議会の皆様を始め町民

皆様のご理解とご協力を心よりお願い
申し上げます。

本町の行財政状況につきましては、
行財政改革を推進して健全財政の維持
に努めておりますが、長引く景気の低
迷による経済情勢の中で行財政運営
は厳しい状況が続いており、町税収入
や地方交付税が減少するなか、限りあ
る財源を最大限に生かしながら様々な
国の制度や補助金などを活用すること
により、財源を確保し、効果的・効率
的な行財政運営を進め、町民皆様とこ
れからのまちづくりへの想いを共有し
ながら、さらにスピード感を持つて諸
課題に取り組み、地域経済の活性化を
果たし、安定した財政基盤をつくるこ
とに引き続き全力を注いでまいります。

わが国は、世界に先駆けて超高齢化
社会に突入し、未曾有の災害に遭遇し、
さらには原発事故によって深刻なエネ
ルギー制約にも直面しております。ま
た、消費税率の引き上げに伴う地域経
済への影響も懸念されているところで
あります。

このような中で、私は、町政の継続

性を大事にし、早い時代の流れの中で、
その時々に応じた、対処した町政を
進め、「町民が主役のまちづくり」を
基本理念に、どのような状況にあつて
も町民の皆様が笑顔を絶やさず、人と
人との支え合いを大切にしたいやり
のある地域社会を念頭に置きながら
「元気なふるさとづくり」のため、昨
年十二月議会での所信表明で申し上げ
た次の五つの目標を掲げながら諸施策
を実施してまいります。

「平成二十六年町政執行の目標」

- 1 基幹産業の漁業、観光産業の
振興による経済の活性化
- 2 離島という地理的不利な地域
格差の是正、解消による
住民生活の改善
- 3 町民の命を守る防災・減災の
整備促進
- 4 保健福祉、介護、医療など
実情に応じたきめ細かな
福祉政策の展開
- 5 子ども達の学力、豊かな心、
健やかな体を育む教育環境の
整備

一・基幹産業の漁業、観光産業 の振興による経済の活性化

水産業について

昨年の利尻漁協における町内の漁業
生産額は一六億八千六十七万三千元と
昨年を若干上回る結果となりました。

その内容については、天然昆布やナ
マコ、ノナ、ホッケ、ヒラメ等の増産
がある一方で、高水温の影響によるも
のと思われるウニや養殖昆布の減産、
サケやタコ等の減産があるなど、魚種
によってあるいは地区によって、自然
環境等の変化に大きく左右されること
を改めて痛感するとともに、このよう
な状況下で、水揚げを確保した漁業者
や関係者の皆様のご苦労とご努力に敬
意と感謝を申し上げます。

迎える平成二十六年度は、天然昆布
の繁茂も良く、また、養殖昆布も種昆布
を十分確保できたと仄聞しており、明
るい期待を持っておりませんが、一方
は昨年大きく減産したウニの資源量回
復や、サケやホッケ等漁船漁業が順調
な水揚げであることを願っております。
安定した漁業生産を図るため、また
後継者を確保していくためには、行政
としてどのようなことをしなければな
らないのか、どのようなことが望まれ
ているのか、その対策を漁協とともに

取り組んでいくため、先般、利尻漁協 駕泊本所・鬼脇支所の役員の方々とともに懇談を行いました。

この中で、ヨレモク対策やウニ、ナマコの資源増大対策、後継者問題、組合員の高齢化対策、作業員確保の対策等いろいろな意見を交換することができ、互いに資料を持ち寄りながら、懇談の回数を重ねて施策に反映させてまいりたいと考えております。また、この中で、沖合の未利用資源活用に関する意見も出され、関係機関に協力を求めながら水中カメラ等の活用による調査を行いたいと考えており、これらを含め漁協が漁業者のために積極的な対策を講じて頂くことに期待をしているところであります。

次に、新年度の水産振興に対する取り組みについてであります。ホッケ選別機の導入や鬼脇蓄養施設の機器整備、海上輸送費への助成措置を講じます。

また、地域から要望のある船揚場や作業用道路の改良などについては、雪解けを待って現地調査の実施や土地等権利関係の調整など、実現に向けて努力してまいります。

漁場開発では、昨年に引き続き二石地区に北海道が事業主体で囲い礁、四千二百㎡が造成されます。

漁港関係では、雄志志内漁港は外防波堤工事が継続され二十六年度中の完

成が予定されており、本泊漁港は機能保全事業計画承認後に船揚場の改良を実施する予定でおります。

港湾整備では、直轄事業として駕泊港本港の東防波護岸改良が継続実施され完成を目指すほか、鬼脇港区では南防波堤改良に向けて測量設計を行う計画となっております。

海の駅「おしどまり」について

新フェリーターミナル「海の駅おしどまり」は、ご案内のとおり三月二十二日に供用式典を挙行、この際に「みなとオアシスりしりとう・おしどまり」「りしりとう・おしどまり海の駅」の認証式を実施し、三月二十五日の供用開始に向け関係機関と調整を進めております。さらに、港を活用した地域活性化に資するため、駕泊港活性化推進協議会が設立され、イベント等を計画しており、この活動を支援してまいります。

観光について

観光についてであります。上期における観光客の入込数は十三万五千五百人となり、前年の同期対比では二千五百人増となりました。また、宿泊客においても四百人増とこれまでの減少傾向から回復傾向に転じてきたと思われ

これも観光協会を始めとする観光関係者のご努力はもとより、利札三町や宗谷管内市町村、各団体、民間企業等が連携し、国や北海道などの支援を得て実施した各種の誘客事業、ANAとのタイアップ事業、そして「北のカナリアたち」効果など、さまざまな取り組みによる成果も一因であると考えております。

昨今は個人型観光客の比率が増加し、さらには外国人観光客が増加するなど観光客の受入も時代のニーズに应运う必要があることから、観光協会の運営や取り組みに対する支援を強化すると共に、各地域や関係機関が連携した取り組みへの参画と支援を実施してまいります。特に、本年は昭和四十九年九月に利尻・礼文・サロベツ国立公園に指定されてから四十年という節目の年に当ることから、環境省や北海道、関係六市町等で構成している稚内利尻礼文サロベツ観光振興連絡協議会が主体となり記念事業を行う予定であり、道内外へのテレビ放映やPR、シンポジウム等を企画しておりますので、これら情報発信により、多くの人が訪れることを期待しております。

受入施設の整備として町が行う事業は、ペシ岬地区散策道検討調査や想い出橋点検業務、登山道乙女橋調査など観光施設の維持保全を図っていくため

の各調査を実施すると共に、ファミリーキャンプ場維持補修工事、利尻山登山道維持のための協議会への負担を実施してまいります。



利尻山登山道整備の様子

二 離島という地理的不利な地域格差の是正、解消による住民生活の改善

離島と本土の格差是正については、平成二十五年度より改正離島振興法が施行され、国の責務において離島振興に必要な施策がとられるよう拡充・強化されました。本町においても、それらの振興策を積極的に活用し、離島と本土との様々な格差是正を積極的に進

めてまいります。
離島活性化交付金事業として、戦略産品の輸送費支援事業補助金の継続と一時避難所誘導板設置事業を実施します。

生活路線について

離島における漁場生産力の向上などの支援として交付される離島漁業再生支援交付金、ガソリン価格が下がるよう国が直接販売業者に支援する離島ガソリン流通コスト支援事業が引き続き実施されるとともに、離島航路・航空路線の運賃につきましても引き続き離島住民割引の助成を継続いたします。

特に、航空路線は、利尻・丘珠線の通年運航の維持・存続と住民負担の軽減を図るため、消費税引き上げによる料金改定がありますが、離島住民割引運賃を一万四千三百円に据え置きますし、シルバー運賃につきましても、負担増とならないよう考えております。

また、季節運航となつている全日空（ANA）は、本年も六月から九月までの四ヶ月間利尻―千歳間が運航されることが確約されております。

道路・市街地整備関係について

生活基盤整備につきましては、町が実施する道路関係の事業であります。栄町五号線改良工事、野中御崎線側溝改修工事や各町道の維持補修と側溝改

修工事を行います。

鴛泊市街地まちづくり協議会や鴛泊市街地整備促進期成会の皆様が協議検討を重ね、改訂されました鴛泊市街地整備計画マスタープラン及び鴛泊市街地街なみ環境整備方針に沿った最初の事業として、街路灯整備工事に着手するとともに、統一看板等の整備に對して助成措置を講じております。

続いて、稚内建設管理部が所管する道路の関係ですが、鴛泊市街地整備では港町区間の擁壁工や路盤工、舗装工、取付道路等、用地買収や補償等の実施が見込まれておりますが、平成十九年五月に事業評価いただき事業着手した当大規模公共事業の再評価を受けることも確実視されており、事業を継続させるためにも関係機関と連携を密にしております。鯨泊地区では用地買収や補償等、旭浜地区では現道拡幅のための調査設計が計画されております。

町営住宅について

住宅関係では、昨年に引き続き富士野団地三棟六戸の耐震化と長寿命化を目的とした改良工事を実施し快適な住環境の確保を進めていくほか、老朽化した公営住宅三棟八戸の解体など、住宅施策の計画的な展開を図つてまいります。

水道事業について

簡易水道関係では、町内の水道配水管等の経年経過から漏水事故が多発している状況にあり、水道施設の更新計画策定と漏水等への迅速な対応を図るため、三ヶ年計画で上水道情報システム整備事業を実施いたします。

以上のとおり離島振興策を講じてまいります。諸々ある地域格差の是正、解消のため、今後におきましても国、北海道に對して離島の実情を訴え、また、発信して住民の生活改善を図つてまいります。

三. 町民の命を守る防災・減災の整備促進

防災対策について

未曾有の被害をもたらした東日本大震災から三年、その後も気象の変化による多くの風水害や暴風雪により、各地で多くの尊い命が失われ、中でも伊豆大島の台風による土砂災害は、同じ離島に住む私たちにとつても人事ではない自然災害でありました。

雄大な利尻富士とともに暮らす私たちにとつて、山と森林の恩恵は計り知れないものではあります。一転、集中豪雨に見舞われますと町内の水無川

は氾濫し、土石流の発生も危惧される地域であります。また、想定される地震・津波については、北海道北西沖にプレート境界が存在し、マグニチュード七・八程度の規模の地震が三十年以内に〇・〇六〇・一%の確率で発生しうると地震活動の長期評価により予想もされています。この確率は決して低いものではないとの見解から、震源地に近い我が町では震度六弱の地震が発生するとされされており、防災・減災対策に万全を期さなければなりません。

このため、今年度には地域防災計画の根本的見直しを行い、実効性の高い計画と各種マニュアルを作成し、あらゆる可能性を考慮した災害や減災に視点を置いてハード・ソフト事業に取り組めるよう、全庁的に協議できる体制「地域防災計画見直し庁内検討会議」を立ち上げ、現場レベルの視点で、必要な対策や課題を整理し、解決策を見出し、防災計画に反映してまいります。

昨年、災害対策基本法が改正され「住民等の円滑かつ安全な避難の確保」「平素からの防災への取組」に重点を置いて、今年度は湾内・二石・石崎地区に一時避難所の誘導看板を設置し避難路整備を計画的に行うとともに、自助・共助による減災の考え方を基本とし、防災講演研修会を実施し、これによる住民自らの防災意識レベルを高め、

それを補う公助として、避難の際に必要な非常用品を一部装備した防災持出しボックスを全戸に配布し、個人において必要な非常用品を自身で備える意識づくりを手助けすることによって、地域の防災力の向上を図ることとしております。

消防関係では、消防救急無線が平成二十八年五月までにデジタル化されるため、本年度は消防救急デジタル無線設備の整備工事を消防事務組合負担金に計上しています。救急業務については、本年度救急救命士の有資格者一名を採用し救命士を八名体制とし、救急業務体制を充実させるとともに救命率の向上を目指します。

治山・治水・砂防関係について

治山・治水・砂防関係では、町事業は、湾内地区の小規模治山事業を継続実施し完成させます。また、森林管理署関係ではヤムナイ沢に床固工と嵩土工が計画されているほか、宗谷総合振興局では、昨年に引き続き滝の沢川に床固工を設置、稚内建設管理部ではオチュウシナイ川の砂防堰堤改良を実施する予定となっており、地域の予防保全対策が進められるものと期待しております。

四・保健福祉、介護、医療など実情に応じたきめ細かな福祉政策の展開

保健・医療関係について

最初に保健関係では、健康で元気に暮らせることは、全ての町民の願いです。今年度も各地区自治会や保健福祉推進員の皆様の協力を得ながら、健康教育や健康相談等を通して健康づくりの啓蒙に努めるとともに、生活習慣病を予防するため、特定検診、特定保健指導、さらには疾病の早期発見、早期治療につながる各種がん健診を継続して進めてまいります。

利尻富士町健康づくりの指針となっている「利尻富士町健康づくり計画21」も本年度が十ヶ年計画の最終年度となりますので、年度末までに新たな計画を策定し、様々な健康課題に取り組んでまいります。

予防接種については、これまで実施してきた「高齢者肺炎球菌ワクチン」「水痘（水ぼうそう）ワクチン」の接種が本年十月から法定接種化されることとが決まっています。これらを含めて各種予防接種、乳幼児健診を実施するほか、乳幼児医療費の助成と育児支援、妊産婦検診の一部助成を引き続き実施しながら、感染症対策に総合的に取り組んでまいります。

組んでまいります。

医療体制については、一次医療を担当している篤泊診療所、道立鬼脇診療所と連携を図りながら、町民が安心して受診できる診療体制に心掛け、疾病の予防、早期発見に対処できるよう保健、医療サービスの向上に努めてまいります。

地域福祉関係について

地域福祉では、住み慣れた地域で、高齢者をはじめ全ての町民が安心して共に支え合いながら、生き生きと暮らすことができるよう民生児童委員や保健福祉推進員、社会福祉協議会と連携を密にし、生活支援・相談体制を充実させるほか、ひとり親家庭等医療給付事業や低所得者層を対象とした燃料購入扶助事業を継続実施します。

また、本年四月からの消費税率の引上げに際し、低所得者に与える負担の影響を鑑み、暫定的・臨時的な措置として、全額国費負担により町民税が課税されていない方を対象に、臨時福祉給付金として一人につき一万円～一万五千円を給付いたします。

高齢者福祉について

高齢者福祉では、今日の急速な高齢化や核家族化の進展に伴い、本町においても一人暮らしや高齢者のみの世帯が増加傾向にあり、特に、総人口の六

十五歳以上が占める高齢化率は三十五%に達しています。このように本格的な高齢化社会を迎える中で、これまで家庭や地域で担ってきた介護のあり方を見直しながら、保健福祉センターや地域包括支援センターが実施している介護予防支援事業のほか、高齢者等見守りファイルを活用して関係機関との連携強化や情報の共有に努め、地域の見守りを強化して支援活動を積極的に推進してまいります。



敬老会の様子

また、高齢者が安心して暮らせる地域をつくるため、新たに高齢者用運動プログラムの構築を目的とした「住民参加型高齢者生活支援等推進事業」を全額道費負担により実施いたします。

介護サービス施設の運営にあたっては、入所者、通所者が安心して利用できるような適切なケアプランのもと、衛生管理には細心の注意を払い、心のこもったサービスを提供できるように徹底してまいります。

障がい者福祉施策について

障がい者福祉では、障がい者の基本的施策やサービスについては、障害者総合福祉法に基づき提供されていますが、併せて、地域での生活を営むことができるような相談支援や地域生活支援など、宗谷圏域障害者総合相談支援センターなど関係団体との連絡を強化し、サービス提供体制の確保に努めます。

児童福祉・少子化対策について

児童福祉では、本年度は七十八名が篤泊・鬼脇保育所に通所する予定であります。このため多様化する保育ニーズに対応しながら、職員の配置基準を順守した体制をもって万全を期してまいります。また、鬼脇保育所の外壁改修、屋上防水工事を行い保育環境の整備を図ってまいります。保育料については、平成二十五年度の改正により国の基準の八十%に達しておりますので今回の改正は行いません。所得税・個人住民税の扶養控除の税制改正に伴う

保育料への適用については、昨年同様に扶養控除の影響を生じさせないよう措置いたします。

少子化及び子育て支援対策については、消費税率の引上げに際し、子育て世帯への影響を緩和するとともに、子育て世帯の消費の下支えを図るため、全額国費負担により中学生以下の児童を対象に、子育て世帯臨時給付金として一人につき一万円を支給するほか、新たに島内高校への通学費の負担軽減を図るための支援給付金として、対象者一人につき一万円を給付いたします。また、赤ちゃんの誕生を望むご夫婦を対象に経済的な負担の軽減を図るため、新たに特定不妊治療費の助成事業に取り組みるとともに、妊産婦の出産支援と検診・分娩に係るフェリー料金等についてはこれまで同様、交通費の全額助成と宿泊費の一部助成を継続いたします。

各保険制度について

国民健康保険事業の運営については、加入者の減少に加え、国の医療制度改正の影響など構造的な問題を抱えており、安定した事業運営が厳しい状況にあります。特定検診や保健指導をはじめとする疾病の早期発見・予防の取り組みとともに、医療費通知や啓発活動を継続し、医療費の適正化に努めな

から安定的運営を目指します。国保税については、国の税制改正により賦課限度額の引き上げが予定されているほか、所得の把握を確実にしながら、定例会六月会議で審議して頂くこととなりますのでご理解願います。

後期高齢者医療制度は、北海道全市町村で構成する広域連合により運営されており、国保税と同じく賦課限度額の引き上げが予定されているほか、二年毎の保険料の見直しとともに、これまで一人当たりの老人医療費が全道平均より二十%以上低いことから適用されていた保険料率軽減の特例措置が廃止されますので、全道均一の保険料となる予定です。

介護保険事業では、平成二十六年で第五期介護保険事業計画が最終年度になることから、年度末までに次期計画の策定に向け、国の制度改正の動きを捉えながら、地域の実態に応じた介護保険事業の将来構想を定めてまいります。

戸籍関係では、住民サービスの向上及び戸籍事務の効率化・迅速化、また、災害での戸籍の滅失を防ぐため、平成二十八年二月の稼働に向けて、利礼三町が共同して戸籍の電算化を進めるため、戸籍事務の一部受託に関する協議についての議案を提出しておりますので、よろしくご審議をお願いいたします。

五. 子ども達の学力、豊かな心、健やかな体を育む教育環境の整備

※教育行政施政方針参照

行政の出前について

私は、所信表明で町民にわかりやすく理解しやすい行政を進めるため「行政の出前」（仮称）ができないかと申し上げました。現在庁内において内容や方法について検討しており、自治会の意見も聞きながら定期的に職員が各地区を訪問し、行政手続きや相談ができる仕組みづくりに取り組んでまいります。

平成二十六年度財政運営について

本町の財政状況は、冒頭でも申し上げましたとおり、議会や町民の皆様方の行財政改革に対するご理解とご協力のもと着実に行財政改革が進められており、一般会計、各特別会計とも黒字決算を維持しており、皆様も心配している財政健全化法に基づく四つの指標はすべて国の基準をクリアしています。これから審議頂きます二十六年度の予算は自主財源の主軸である町民税や財源の依存度が高い地方交付税の減額が予想され、加えて北海道電力料金の値上げ、燃油の高騰、消費税増税に伴

平成26年度 建設事業一覧表

〔一般会計〕

単位：千円

事業名	事業費	
総務費	地理情報システム整備業務委託	4,341
	交通事故死ゼロ看板改修工事	1,046
	テレビ中継局整備事業負担金	1,697
	総合行政システム購入	7,810
	戸籍総合システム購入	60
計	14,954	
民生費	保育所改修工事	17,000
	計	17,000
衛生費	火葬場火葬炉補修工事	2,992
	し尿処理収集車購入	2,675
	計	5,667
農林水産業費	小規模治山事業	15,500
	離島漁業再生支援交付金	45,232
	漁業振興施設整備事業補助金	40,800
	水産環境整備事業負担金	4,200
	計	105,732
商工費	ベシ岬地区散策道検討調査委託	1,200
	想い出橋点検業務委託	573
	富士野園地展望台塗装工事	800
	登山道乙女橋調査委託料	659
	計	3,232
土木費	栄町5号線改良工事	25,000
	町道補修工事	1,100
	町道側溝改修工事	4,000
	鬼脇除雪センター改修工事	5,500
	鴛泊港整備事業負担金	38,250
	利尻富士利尻線工事	281,740
	街並み整備助成事業補助金	667
	街路灯整備工事	20,000
	ファミリーキャンプ場維持補修工事	1,300
	公営住宅個別改善工事	42,300
	公営住宅補修工事	5,000
	飛行場標識施設補修工事	1,566
	計	426,423
消防費	光ケーブル移設工事	2,000
	新規加入者増設工事	1,000
	一時避難所誘導板設置工事	3,923
	災害対策用備品購入費	4,200
	計	11,123
教育費	鴛泊小学校トイレ改修工事	3,400
	資料館駐車場車止め改修工事	900
	富士見ヶ丘球場バックネット改修工事	4,100
	総合体育館サッシ等取替工事	1,600
	計	10,000
合計	594,131	

う歳出増等、厳しい状況の中で、限られた財源の重点的・効率的な配分に留意するとともに、消費税引き上げに伴う使用料等の条例改正は提案いたしましませんが、住民生活への負担軽減を図るため、当分の間従前のとおりとするなど、地域の皆様の暮らしを守ることを念頭に予算編成を行ったところであります。

その結果、一般会計の建設事業費は、五億九千四百三十三万一千円、特別会計ではフェリーターミナル建設事業が終了したこともあり五千三百三十七万三千円、一部事務組合では四億五百四十七

万三千円合わせて十億五千九百七十七千円（前年度対比二十七・七%減）を確保しており、また一部国の補助金の関係で当初予算から留保した事業もありませんが、これらの事業費をもって町内の雇用対策、景気対策を講じようとするものであります。

その結果、一般会計歳入歳出予算の規模は三十九億七百万円（繰越明許分三千七百万円を含めると三十九億四千四百万円）とし、対前年度比で一千九百万円、率で〇・五%の減額予算となっています。一方、特別会計では簡易水道事業特別会計ほか九会計で総額十七億五千百七十七万二千円で二十三・七%の減額予算となり、一般会計、特別会計を併せた総額では五十六億五千八百七十七万二千円となり、前年度対比では九・一%の減額予算となりました。

以上、平成二十六年年度の町政執行に臨むにあたり、私の所信の一端と主要な施策を申し述べましたが、少子高齢化を迎え、低迷する地域経済、厳しい財政状況など多くの課題を抱えている中でも、地域の振興発展や町民福祉の向上へ向け、将来にわたり安定し持続可能なまちづくりが求められています。その取り組みは多くの困難を伴うものと存じますが、そのような状況の中で、多くの先人が幾多の苦難を乗り越えて築かれた産業・歴史・文化・豊かな自然に、新たな町民の英知を結集し、「住んでよかった」、「住み続けたい」、そして次世代に誇れる元気なまちづくりを推進してまいりますので、町議員の皆様をはじめ、町民皆様の温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年度

教育行政執行方針



りますようお願い申し上げます。

教育を取り巻く環境は、国では教育再生を経済再生と並ぶ日本国の最重要課題であると位置づけ、教育再生実行会議を設け教育委員会制度の在り方をはじめ、道徳教育、土曜日の活用、英語教育など教育を巡って様々な角度から議論がなされており、大きな転換期を迎えようとしております。

こうした中、教育の質を維持向上させながら、子どもたちの学習習慣の確立、さらに子どもたちの能力を引き出し、可能性を伸ばすために、子どもたち一人ひとりの個性を大切にされた学校

平成二十六年第一回定例

議会三月会議の開会にあたり、教育行政の執行に関する方針を申し上げ、町議会並びに町民の皆様のご理解とご協力を賜

・家庭・地域が強く連携した取組みが重要となっております。

さて、昨年は冒険家の三浦雄一郎さんが世界で初めて八十歳でのエベレスト登頂を成し遂げ、宇宙飛行士の若田光一さんは四度目の宇宙滞在で日本人初の国際宇宙ステーション船長となるなど、何歳になっても夢を持ち続け、それで満足することなく、今の自分を超えようとする強い意志と行動力に、私たちは勇気と希望を与えられました。また、ソチ五輪フィギュアスケート男子で金メダルを獲得した羽生結弦さんは、東日本大震災での過酷な避難所生活を乗り越えての快挙であり、日本中が感動し喜びを共有いたしました。

このことは、「未来」の自分を思い描きながら毎日を真剣に自分自身と向き合っている子どもたちにとって大きな勇気であり、無限の可能性を秘めた夢や希望につながるものと思えます。

教育委員会といたしましては、本町の未来を担う児童生徒が『生き生きと学び、心身ともに健やかに成長できる学校教育・社会教育』の一層の充実に

取組んでまいります。

それでは平成二十六年度における各分野の主な施策について申し上げます。

一・学校教育の推進について

子どもたちが、将来社会で自立して生きていく上で必要な学力を身に付けることができるよう、学ぶことへの関心・意欲を高め、分かる喜びを実感させる学習活動の改善・充実を図りながら主体的に学び続ける態度を養い、社会の変化に柔軟に対応できる児童生徒を育成する教育の充実を図るとともに、児童生徒及び保護者の期待に応える魅力ある学校づくりを推進してまいります。

①「確かな学力の育成をめざす教育の推進」

基礎的・基本的な知識や技能の習得と活用する思考力、判断力、表現力の育成と子どもたちの学習意欲の向上を図ります。

●全国学力・学習状況調査等の結果の分析検証を通して、子どもの学力や学習の状況を把握し、学習指導の改善・充実に努めます。

●重点的な指導や繰り返し指導、反復学習など、基礎的・基本的な知識を身

につけさせる指導を推進します。

●少人数指導や習熟の程度に応じた指導、ティーム・ティーチングなど、きめ細かな指導の工夫に努めます。

②「コミュニケーション能力を育む教育の推進」

相手の考えや意見を正しく理解し、自分の気持ちを積極的に適切に伝えることができる能力の育成を図ります。

●学校全体で、表現力や他者・社会との豊かな関係を築くコミュニケーション能力の育成に努めます。

●総合的な学習の時間などの教育活動の中で、互いの考えや気持ちを認め合い、自分の思いや考えを適切に表現することができる、話し合いや発表の機会の充実を図ります。

③「特別支援教育の推進」

支援を要する児童が自己の能力を高め、自立や社会参加が図られるよう、一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援を推進します。

●障がいの理解や具体的な指導のあり方、保護者との連携の仕方などについて、研究を深める校内研修の推進に取り組みます。

●子どものもてる力を高め、生活や学習上の困難を改善、克服する指導や支援に努めます。

④「へき地複式教育の推進」

少人数の特性を生かした特色ある指

導計画の作成や自ら主体的に学習を進めることを促す指導の充実を推進します。

●一人ひとりの特性に応じた課題提示の工夫や子どもたちの学習活動に応じた教材の準備、理解の状況に応じた個別の支援など、目標や内容を明確にして系統性を図った指導に努めます。

●鬼脇地区小中併置校化に向け、小中間のスムーズな連結を図るため関係校との緊密な連携に努めます。

⑤ 「ふるさと教育の充実」

ふるさとに対する愛着や誇りを持ち、未来への夢を見出し、たくましく生き抜く力を育成する教育の充実を図ります。

●地域の教育資源を積極的に活用した創意あるふるさと教育を展開し、主体的・実践的に行動できる子どもたちの育成に努めます。

●各教科・道徳・特別活動との関連を図りながら、学年の発達段階に応じた9年間を見通し、ふるさとを知り・ふるさとに生きる誇りをもてる児童生徒の育成に取組みます。

⑥ 「国際理解教育の充実」

小学校の早い段階から外国語に親しむ活動を拡充し、諸外国の歴史や文化・伝統についての理解を深める教育を充実します。

●ALTの配置により、小学校高学年の外国語活動や中学校の英語学習指導の充実を図り、外国語を通じて積極的

にコミュニケーションを図ろうとする態度や能力の育成に努めます。



冬チャレでの英会話教室

●総合的な学習の時間等を活用し、異なる文化や生活習慣を持つ人々について理解を深めることができる取組みを推進します。

⑦ 「キャリア教育の充実」

将来、子どもたちが社会人・職業人として自立していくことができる基礎となる能力や態度を育てるキャリア教育を充実します。

●地域の特色を生かした職場体験活動や施設見学を実践し、社会的・職業的な自立に向けての基盤となる、将来の夢

や目標を持たせる取組みを推進します。

⑧ 「道徳教育の充実」

子どもを取り巻く社会環境が大きく変化する中、基本的な生活習慣、規範意識、生命の尊重、他者への思いやりなど「豊かな心」を育む道徳教育の充実を図ります。

●自他の生命を尊重する態度を育成し、互いのよさを認め合う好ましい人間関係を築くとともに、男女平等・子ども・高齢者・障がいのある人などの人権に関する正しい理解力を育みます。

●地域に根ざした教材や体験活動を取り入れ、心身の調和のとれたたくましい児童生徒の育成を図ります。

⑨ 「読書活動の推進」

子どもたちが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、豊かな創造力を育むことができる読書活動を推進します。

●朝読書などの全校的な取組みを通して、子どもたちの望ましい読書習慣の形成に努めます。

●家庭や地域と連携し、子どもたちの情緒を育む読書感想文コンクールや作品展を継続するとともに、学校図書品の充実を図ります。

⑩ 「体験的な活動の充実」

豊かな人間性や社会性を育むために、自然体験活動や社会体験活動、文化芸術活動、ボランティア活動などを推進します。

●地域における行事等との連携を図り、児童生徒・教職員・保護者が積極的に参加できる多様な体験活動を図ります。

●自然を生かした活動を通して、故郷の良さを見つめ直す取組みを推進します。

⑪ 「生徒指導・教育相談の充実」

子どもの実態に応じた指導計画の作成など、心のふれあいを大切にした生徒指導・教育相談を推進します。

●保護者との信頼関係を深めるとともに、家庭、地域社会、関係機関と連携した指導相談体制の充実を図ります。

●いじめ・不登校等の問題行動を未然防止するため、望ましい人間関係を構築する教育活動の充実を図ります。

⑫ 「体力・運動能力の向上」

運動の楽しさや喜びを実感させ、生涯スポーツに必要な能力・態度を育成する取組みを推進します。

●新体力テストを実施し、子どもの体力・運動能力を的確に把握し、体力の向上の基礎を培う体育授業の充実や運動部活動・少年団活動の支援に努めます。

●地域行事と連携した「わんぱくマラソン大会」等への積極的な参加を通して、基礎的な運動能力・体力向上を図ります。

⑬ 「食育の充実」

子どもたちの食生活の乱れが学習意欲や健康に様々な影響を与えていますので、食に対する正しい知識・マナー

・望ましい食習慣を身につける食育を推進します。

●「早寝早起き朝ごはん運動」を身につけさせるなど、子どもの発達段階に応じた食に関する指導の充実に努めます。

⑭「安全教育の推進」

全国各地で発生している登下校時に子どもたちが事件や事故に巻き込まれる事案等を踏まえて、児童生徒の安全・安心を確保する生活安全、交通安全、防犯・防災教育の一層の充実を図ります。

●地震等の自然災害、火災、不審者の対応に備えた危機管理マニュアルの見直しを図るとともに、学校・家庭・関係機関との連携体制を強化し、地域ぐるみの安全確保対策に取り組みます。

⑮「特色ある学校づくりの推進」

学力の向上を念頭に据え「確かな学力」「豊かな心」の育成など、学校経営を通して家庭や地域に信頼される地域に根ざした特色ある学校づくりを推進します。

●学校経営ビジョンの定期的な情報発信や学校行事の積極的な公開に取組むなど、保護者・地域住民との心の絆が強まる学校づくりに努めます。

●地域の自然や歴史、伝統、文化などを生かした教育活動を展開し地域の人材・素材から学ぶことにより、児童生徒が「ふるさと」を大切にし意欲的に学習に取り組む態度を育成します。

⑯「学校間の連携・接続の推進」

小・中学校、高等学校への進学時における学習のつまずきをなくすため、学校種間の連携・接続性を図る教育活動を推進します。

●各学校間の相互授業参観を積極的に取り入れるとともに、小小連携・中中連携・中高連携の交流を定期的・継続的に推進します。

●小一プログラム、中一ギャップの未然防止の観点から、入学後の指導に生かすことができるよう、保小連携・小中連携を図ります。

⑰「教職員の資質・能力の向上」

教育の直接の担い手である教職員には、教育に対する強い情熱や使命感、豊かな人間性や社会性、高い指導力等の専門性を身に付けることが求められますので、教職経験等に応じた教職員一人ひとりの資質や能力を一層高める研修の充実を図ります。

●計画的・継続的な校内研修の推進に努め、各種研究会・研修会への参加など校外研修の充実を図ります。

●教育公務員としての服務規律や法令遵守など、校内で規範意識が共有される体制づくりを推進します。

二・社会教育の推進について

社会教育は、文化的教養を高め、人

々に心の豊かさや生きがいをもたらすとともに、学校と家庭・地域社会の連携を促し人と人の絆を強くし、地域の発展に寄与する大きな役割を果すものと思えます。また、子どもたちの育成においては、少子化・核家族化などにより人間関係が希薄化する中、異年齢や地域の人々とのふれあいの中でコミュニケーション能力を培い「生きる力」を育むため、社会教育活動の一層の充実を推進してまいります。

①「生涯学習の推進」

趣味や教養、芸術文化、スポーツ、ボランティア活動など多様な学習機会を通じて、子どもから大人まで人と人がふれあい、町民一人ひとりが生きがいをもつて生活できるよう、関係団体と連携を図りながら生涯学習を推進します。

●公民館等社会教育施設の活用については、地域に密着した利用しやすい施設運営に努めるとともに、心の豊かさを実感できる事業を展開します。

●母への感謝と思いやりの心を育む「母の日に贈るカーネーション作り教室」
「ものづくりの過程を学び完成の達成感を育む「注連飾り作り教室」、日本の伝統文化にふれあう「かるた(百人一首)教室」、そばの魅力を知る「そば作り教室」、親子の絆を育む「ブ

ックスタート事業」、図書ボランティアによる「読み聞かせ活動」などを継続して開催します。

②「青少年の健全育成」

核家族化が進む中、子どもたちの耐える力や自己制御力、他人を思いやる心が薄らいできている状況にあります。青少年が個性や能力を伸ばし豊かな人間性や社会性などを兼ね備え、心身ともにたくましく育つためには学校・家庭・地域が一体となり、青少年の成長を支え守り育てていくことが大切であります。

●利尻富士町青少年健全育成町民会議との連携を図りながら、地域住民ボランティアの知識や技術経験を子どもたちの教育に活かす「学校支援地域本部事業」を推進します。

●長期休業時に子どもたちが安全で安心して過ごせる居場所づくりとして、北海道教育大学旭川校や利尻高校の協力を仰ぎながら「夏休みチャレンジ教室」、「冬休みチャレンジ教室」を継続して開催します。

●地域リーダーを担う子どもたちを育成するため、北海道ジュニアセミナー事業への参加を継続するほか、利礼三町児童交流事業などの機会を通して児童生徒や異世代との交流を進めます。

●月曜日から金曜日までの平日放課後に宿題支援やスポーツ活動などを提供

する「放課後子ども教室」の開催を鬼脇・駕泊両地区で継続します。

●学校教育とは違う環境の中で、子どもたちの成長を育む、水泳教室・書道教室・カルタ教室などの「週末教室」を通年実施します。

三・文化・芸術活動の推進

心のゆとりや潤いにつながる文化・芸術活動は人生の生きがいとなり生涯学習社会の中で果す役割は大変重要と考えます。また、先人の知恵と工夫、歴史や伝統を伝える様々な文化財の保護と活用を図るとともに、定期的な情報発信の充実に努めます。

●生の芸術に直接触れることのできる巡回小劇場の開催や、劇団四季の利尻公演など、心の豊かさと情操を高める活動を継続します。

●南浜獅子神楽の保存伝承を継続し、保存会の協力を得ながら町内小中学生による活動を推進します。

●本町の歴史・文化の発信拠点である郷土資料館・カルチャーセンターりつぶ館の効果的な運営に努めます。

●町内外に埋もれている郷土資料の収集、調査を継続して行うとともに、学芸員による出前講座など各種事業を推進します。

四・スポーツ活動の推進

スポーツは、日々の生活に感動や楽しみ活力をもたらし、精神的な充足感を得るとともに、生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む上で不可欠なものとなっています。健康志向や余暇のスポーツの重要性が益々高まってきていますので、町民だれもが、それぞれの体力や年齢、目的に応じて、いつでも、どこでもスポーツに気軽に参加できる環境づくりを推進します。

●総合型地域スポーツクラブ「利尻富士RIPS」や体育協会などスポーツ振興に取組む団体との連携を図り、各



わんぱくマラソン

種スポーツ大会やイベントを積極的に支援します。

●スポーツ活動の拠点となる総合体育館やパークゴルフ場などの体育施設は重要なポイントであり、今後も適切に維持補修を行い効率的な施設運営に努めます。

以上、平成二十六年年度の教育行政の執行方針を申し述べました。

その執行にあたっては、学校・家庭・地域関係団体と連携を図りながら、本町子どもたちをしつかりと守り育てる思いを胸に全力で取組んでまいりますので、皆様のご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。



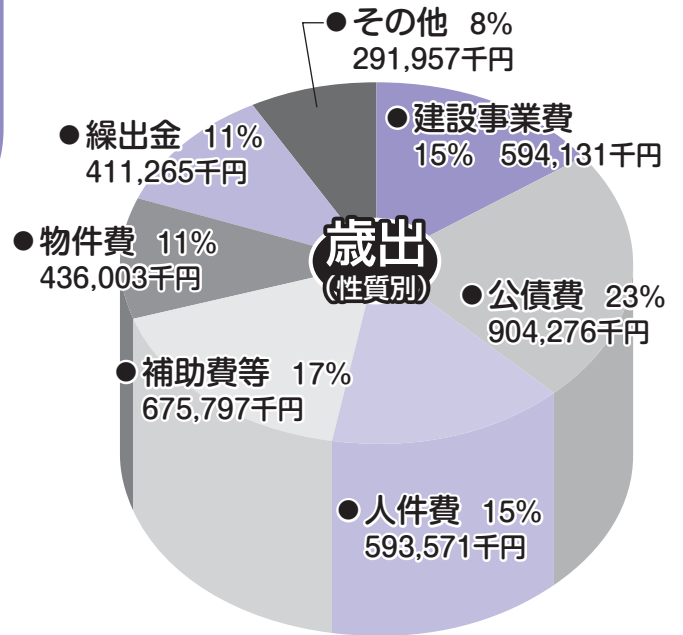
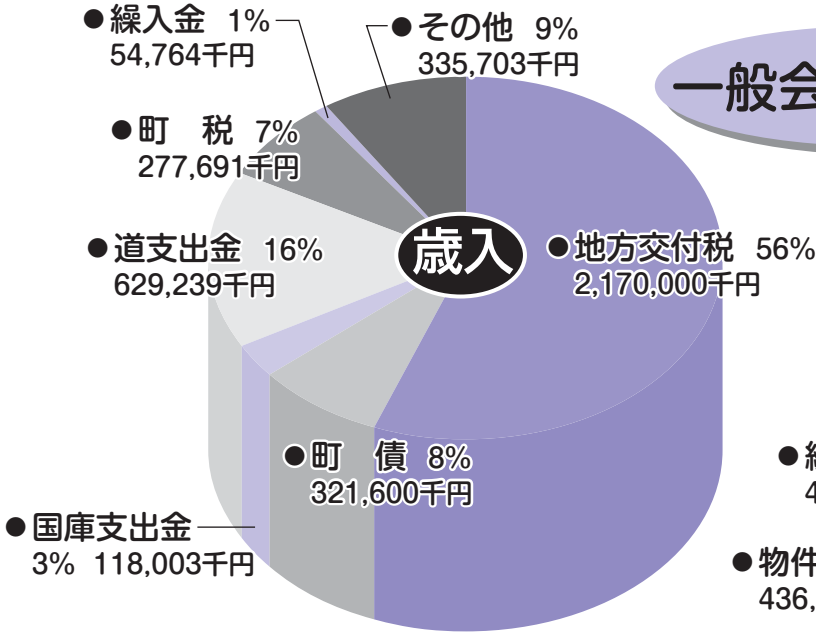
一般会計の歳入・歳出予算額は…

39億700万円

平成26年度の当初予算額は、前年度比0.5%の減となっております。特別会計の合計17億5,117万円と合わせた町の予算総額は56億5,817万円で、平成25年度当初予算と比較すると、約9.1%（5億6,308万円）の減額となります。

平成二十六年年度の
予算概要
をお知らせします。

一般会計予算は？



特別会計予算

単位：千円

	平成26年度	平成25年度	比較
簡易水道事業特別会計	72,618	83,405	△ 12.9%
下水道事業特別会計	194,887	203,043	△ 4.0%
港湾整備事業特別会計	32,396	549,074	△ 94.1%
温泉事業特別会計	70,724	70,818	△ 0.1%
国保事業特別会計	445,256	453,452	△ 1.8%
後期高齢者医療特別会計	49,797	45,708	8.9%
介護保険事業特別会計	298,440	305,779	△ 2.4%
介護サービス特別会計	453,949	450,290	0.8%
歯科施設特別会計	55,892	54,738	2.1%
国保施設特別会計	77,213	78,944	△ 2.2%
合計	1,751,172	2,295,251	△ 23.7%

目的別歳出予算

単位：千円

科目	予算額
議会費	48,996
総務費	414,686
民生費	480,903
衛生費	328,301
労働費	120
農林水産業費	151,574
商工費	172,296
土木費	905,064
消防費	253,943
教育費	236,368
公債費	904,276
諸支出金	7,472
災害復旧費	1
予備費	3,000
合計	3,907,000

警察官ご紹介

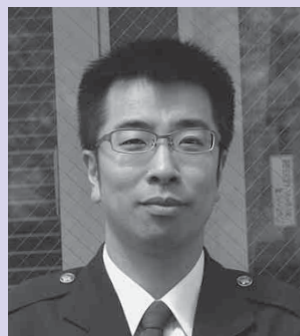


鴛泊駐在所巡査長
ばん どう ひろ あき
坂東寛明さん

4月の異動で函館中央警察署から、鴛泊駐在所で勤務させて頂くことになりました。

以前から希望していた利尻島での勤務が叶い、大変光栄に思います。

警察官として、まだまだ経験が浅く、皆様にご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、地域のために一生懸命職務に取り組みますので、よろしくお願いします。



鬼脇駐在所巡査部長
ほん ま こう しょう
本間高陽さん

4月の異動で砂川警察署から、鬼脇駐在所で勤務させて頂くことになりました。

一度は海と山に囲まれた素晴らしい自然環境の利尻島で勤務したいという思いでこの島での勤務を希望し、転勤して来ました。

住民の皆様と協力し「安全・安心なまちづくり」を目指していきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

よろしくお願いします! 新採用職員紹介

- ①出身地
- ②配属先
- ③趣味・特技
- ④今後の抱負



さわ た まさ み
澤田全美さん

- ①根室市
- ②利尻富士町役場福祉課
- ③将棋

④私は、今年3月に稚内北星大学を卒業し、利尻に来ました。職場の皆さんには非常に優しく接していただき、わからないことも丁寧に教えてくださいます。まだまだ、わからないことやご迷惑をおかけすることもあると思いますが、少しずつ慣れていくことができるように努力していきます。

みなさん、よろしくお願いします。



やま かみ こう へい
山上貢平さん

- ①利尻富士町
- ②利尻富士町役場産業建設課
- ③スポーツ鑑賞

④まずは役場の仕事、役割などをしっかり理解し、把握していきたいです。

そして、1日でも早く仕事を覚えるのももちろんですが、広い視野と柔軟な対応を身に付けていけるようがんばります。

まだ、わからないことばかりで、皆さんにはたくさんご迷惑をおかけすると思いますが、精いっぱいがんばりますのでよろしくお願いします。

わがまち
タイムスりっぷ

連載③⑤

利尻アイヌ史② ～アイヌ語地名

連載29で、江戸時代の利尻島には、道内各地同様、アイヌの人びとが住んでいたことをお伝えしました。と同時に、アイヌの人びとは、多くの地名を残しました。今回は、町内においてアイヌ語の響きを今に伝える地名の由来について探ります。

町内の地名の多くには、「トマリ」「ナイ」という言葉がつけられています。「トマリ」は「入り江」、「ナイ」は「沢」です。本泊は元々「ポントマリ」だったので「小さな入り江」、鶯泊は「オストマリ」で「岬の根元にある入り江」、その岬とは「ペシ岬」のことで「ペシ」は「シペシ（大きな崖）」に由来します。沼浦は元々「オタトマリ」と呼ばれ、「砂浜のある入り江」、大磯の「オトントマリ」も同様の意味です。湾内は「リヤウシナイ」と呼ばれ「越冬する沢」、「オチュウシナイ」は「川尻にいつも潮流のある沢」、「ヤムナイ（清川）」は「冷たい沢」の意で、谷奥の万年雪を通った冷たい水を表現したものでしょうか。このようにアイヌ語では、地形や風景の特徴をよくとらえた名前がつけられています。

このほか道内各地には、神威岬や神居古潭など「神」を表わす「カムイ」が入った地名がつけられていますが、アイヌにとって神聖な場所を意味しています。島内では、雄忠志内と鯉泊の間にある「神恵内」、利尻町の「神居」などがそうです。神恵内には、切り立った岩に顔のような岩が乗っている観音岩と呼ばれている岩がありますが、江戸時代の絵図には「カムイヌカ」と記載されており、「神のかたち・像」という意味があります。また、利尻島自体も信仰の対象として崇められ、「リイシリ」は「高い山のある島」でした。まさに海上や北海道本島から眺めるすがたが、荘厳であった故でしょう。



カムイヌカ



バックイ浜リイシリ眺望
(松浦武四郎1846年西蝦夷日誌巻之七所収)

記事に対するご意見のほか、アイヌにまつわる資料や情報について、ぜひお寄せください。(教育委員会 山谷：電話 82-1370)

「光回線」利用促進にご協力をお願いします!

利尻富士町ではブロードバンドゼロ地域解消のため、国の交付金を活用して町内全域に光ファイバー網を整備し、NTT東日本が提供する「フレッツ光」が利用できるようになっております。現在NTTでは「にねん割」など各種割引も行っておりますので、光ファイバー網利用促進のため、この機会にぜひ加入ご検討をお願いします。

詳しくは、フレッツ受付センター【電話：0120-116116】までお問い合わせください。

※最近、光回線契約等の勧誘電話がしつこく掛かってくる等の苦情が寄せられております。要らないものは、きっぱり断り、関心のあるものでも家族や知人に相談するなどして契約は慎重にしましょう。このような話がありましたら、総務課企画調整係へご連絡ください。



ベイベーター

6人の元気な赤ちゃんを紹介するよ!



こほり
小堀 めいちゃん
H25. 9. 27 生
【両親】 竜治・さやか
【住所】 栄町1

みなさん、こんにちは!
小堀めいです。
日々、のんびりマイペース
に成長中です。
お兄ちゃんの怒られる姿
が大好きです♡
どこかで見かけたら声を
かけてください。



おおやぶてるき
大藪 晃睦くん
H25. 10. 6 生
【両親】 寛万・弘美
【住所】 富士野

おじいちゃんと同じ誕生日に
大藪家の次男として生まれて来
ました!
ママにベッタリの甘えん坊さ
ん(笑)
お兄ちゃんからのイタズラに
キョトンとした反応が可愛らし
いです。
最近ハイハイが上手になり
ました(^.^)平成25年生まれ組
としてよろしくお祈いします!



おのでらしずく
小野寺 雫ちゃん
H25. 10. 16 生
【両親】 聖矢・紗弥
【住所】 富士野

みなさん、こんにちは!
おのでらしずくです。
いつもお姉ちゃんに遊ん
でもらって、たくましく育っ
ています。
最近人見知り泣いちゃ
うこともあります、町で
見かけたら是非声をかけて
くださいね!



まえだらん
前田 羽蘭ちゃん
H25. 10. 26 生
【両親】 匡・園江
【住所】 栄町1

はじめまして、前田羽蘭です。
毎日笑いあり! ケンカあり!
時にはおこられ涙もありの
毎日、にぎやかな家族に産まれ
て幸せ♡
たっくさん遊んでもらったり、
パパとゆっくりお風呂に入る
のも大好き!!
町のみなさん、家族共々よ
ろしくお祈いします。



おおやまたいよう
大山 主陽くん
H25. 11. 8 生
【両親】 主海・望
【住所】 二石

こんにちは、たいようです!
僕はママのお仕事につい
て行って、毎日いろんな人に
抱っこしてもらってるよ♪
お姉ちゃんとパパも帰って
くると、遊んでくれるから大
好きなんだ!
僕をみかけたら、抱っこし
てね☆



こんいつき
今 一稀くん
H25. 11. 19 生
【両親】 幸宏・美香
【住所】 栄町1

はじめまして、こんにちは、一
稀です。
産まれた時も今も体が大きい
僕です(*^_^*)
お兄ちゃん達に遊んでもらい
ながら毎日すくすく育っているよ。
みんながご飯を食べているの
をヨダレをたらしてみているん
だ~。
早く沢山食べたいな~。
見かけたら声をかけて下さい
ね~。

平成26年度自動車税の納期限は6月2日(月)です。 納期限までに納めましょう。

- ◎納期限までに納税されない場合は、年9.2%（納期限の翌日から1ヶ月を経過する日までの期間は年2.9%）の割合で延滞金がかかります。
- ◎自動車税は次の場所で納税できます。（町内の金融機関、郵便局・セイコーマート）

【問い合わせ先】 北海道宗谷総合振興局地域政策部税務課納税係
〒097-8558 稚内市末広4丁目2-27 電話：0162-33-2520（直通）

戸籍の窓口

★お誕生おめでとうございます★

氏名	月日	保護者	続柄	住所
渡邊すみれ（すみれ）	12.19	善哉・さつき	長女	栄町1
平澤 弦（ゆずる）	3.10	芳史・千春	二男	富士野

◆お悔やみ申しあげます◆

氏名	月日	年齢	住所	氏名	月日	年齢	住所
後藤 照夫	12.3	63歳	港 町	森下 定義	1.26	85歳	湾 内
泉 弘	12.10	90歳	本 泊	川端 マサ	2.3	86歳	本 町
依田 ツエ	12.11	88歳	金 崎	河端トミエ	2.11	81歳	本 泊
橋 悦徳	12.12	87歳	鬼脇1	平川 春雄	2.24	85歳	野 塚
山野寺豊治	1.7	66歳	富士野	雑子 義雄	2.25	87歳	栄町1
田中 正敏	1.8	66歳	本 町	工藤 静枝	2.27	91歳	野 塚
山本ミサ子	1.14	87歳	湾 内	本庄 存	3.16	63歳	野 塚
日野澤 隆	1.21	73歳	石 崎	木村 智枝	3.25	88歳	栄町1
大野 民雄	1.24	81歳	南 浜				

交通事故死
ゼロ **697**日
5月12日現在

ハンドルキーパー運動実施中 STOP! 飲酒運転!!

人口のうごき (平成26年4月末現在)

	男	女	計	世帯
鴛泊	904	1,011	1,915	893
鬼脇	407	441	848	464
合計	1,311	1,452	2,763	1,357
昨年	△35	△24	△59	△12

編集後記

今年4月に入ると暖気ですぐに雪解けが進みました。気づけば観光バスが行き来しています。これから本格的に観光や漁業で町が賑わいを見せる季節になりますが、車に乗る機会やお酒を飲む機会が増える季節でもあります。交通事故死ゼロ「1000日」を目指し、これまで以上に交通安全に努め、飲酒運転は絶対にしないようにしましょう！